

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 05-03-02	事務事業名 難病者福祉手当支給事業	所管部課 福祉部 障害福祉課
-------------------	----------------------	----------------------

施策コード 笑1-3	施策名 障害者福祉の充実	施策目標 障害のある人が、地域で自立した生活をおくることができるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	難病者福祉手当を支給することにより、難病患者が日常生活を送る上での経済的負担軽減等福祉の増進を図ることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 手当の対象者は①東京都難病患者等に係る医療費等の助成に関する規則別表第1に掲げる疾病に罹患しており、かつ同規則による医療券の交付を受けている方②店頭てんかんに罹患している方であり、月額5,500円を支給している。支給制限は設けていない。平成22年度末における受給者は1,546人となっている。	
事業開始時期	昭和54 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		90,265	93,924	101,045	105,346
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		90,265	93,924	101,045	105,346
所要人員(B)	人	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,633	1,616	1,616	1,633
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	91,898	95,540	102,661	106,979
単位当たりコスト(E)=(D)/(各年度末の受給者数)	千円	67	66	66	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①各年度末の受給者数	実績値 人	1,368	1,443	1,546	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 各年度の支給額	目標値 千円				
	実績値 千円	90,206	93,858	100,980	
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 端数切り上げ					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	意見の集約は行っていない。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 25市で実施：平均月額＝6,414円(西東京市高額順で14位) 支給制限：所得制限＝12市・年齢制限＝8市・心身障害者福祉手当との併給制限＝15市が実施している。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 支給対象者は心身障害者手帳受給者である心身障害者福祉手当。

事業コード 05-03-02	事務事業名 難病患者福祉手当支給事業	所管部課 福祉部 障害福祉課
-------------------	-----------------------	----------------------

施策コード 笑1-3	施策名 障害者福祉の充実	施策目標 障害のある人が、地域で自立した生活をおくることができるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>経済的支援を行うことで難病患者等の福祉の増進を図るという目的に沿った事業である。</p> <p>事業内容・実施方法については標準的なサービス水準であると思われる、難病患者等の福祉の増進を図るため今後も継続実施する必要があると考える。</p> <p>しかし、難病患者等という特殊性から支給制限を設けていないが、過去3年間で100人づつ受給者が増え続けている状況であり、事業費は年々増加の傾向である。今後、事業を継続する為には、何らかの支給制限は必要と考える。</p> <p>難病患者福祉手当と心身障害者福祉手当との併給該当者（約380人）の制限及び所得制限等について検討する必要がある。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>支給要件となる疾病や支給額のほか、心身障害者福祉手当との併給などについて、他団体の運用などを参考にしつつ、制度のあり方を包括的に検討する必要がある。なお、受給者に係る所得制限の導入については、早急に検討されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業については、支給額の水準は他市平均並みであるが、前回評価でも指摘があり、未対応の心身障害者福祉手当との併給関係の整理を図るとともに、あわせて、他市で導入例のある所得制限等についても検討されたい。</p>